

## I 公民館の充実発展に関する事業

### 【公民館研究集会・大会等の開催】

「全国公民館研究集会」及び「ブロック公民館大会」を 7 地域区分(北海道、東北、関東・甲信越・静、東海・北陸、近畿、中国・四国、九州)で開催した。公民館に勤務する全国の職員等を中心に、6,713 名が参加し、地域社会の現代的課題への対応などのテーマで事例発表や討議及び大学教授等の研究者の講演等を行い、公民館機能を向上させることをもって地域社会の健全な発展を図った。

### 《今年の開催実績／全国公民館研究集会及びブロック公民館大会》

地区	会期	主会場	参加者数
北海道	10/6～7	北海道鹿部町	180 人
東北	10/20-21	福島県福島市	690 人
関東・甲信越・静	8/25-26	神奈川県相模原市	1,031 人
東海・北陸	10/20-21	岐阜県高山市	1,068 人
近畿	11/10-11	和歌山県和歌山市	842 人
中国・四国	9/8-9	山口県山口市	1,251 人
九州	8/25-26	宮崎県宮崎市	1,651 人
合計			6,713 人

### 【全国公民館セミナーの開催】

各都道県を代表する公民館長を中心に 81 名が参加。今年度は以下に記載したプログラムで実施。公民館の機能充実に必要なことを習得し、各地域の公民館の活動にフィードバックすることで、公民館機能を向上させることをもって地域社会の健全な発展を図った。

テ ー マ／公民館 70 年 存在意義を考える

開催期日／平成 29 年 1 月 16～18 日

開催場所／国立オリンピック記念青少年総合センター

参加人数／81 名

《プログラム内容》

日	内容
1 日目	<p>【シンポジウム】            公民館 70 年 存在意義を考える</p> <p>《ファシリテーター》村松真貴子(公益社団法人全国公民館連合会／理事)            《ファシリテーター》牧野 篤(東京大学大学院教育学研究科／教授)            《ゲスト》西井知紀(文部科学省生涯学習政策局／社会教育課長)            《ゲスト》川上 満(北海道平取町／町長、北海道公民館協会／会長)            《ゲスト》矢久保学(長野県松本市／政策部長)            《ゲスト》吉田博彦(特定非営利活動法人 教育支援協会／代表理事)</p> <div data-bbox="395 801 1362 1030" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>対談／西井知紀×村松真貴子              文部科学省をはじめとした政府が、公民館や社会教育について現在行っていること、また国の動きにかかわって、公民館運営はどのような方向に向かっているか、そして、文部科学省はそのなかでも特に、最近どんなことに力を入れているかなどについて語る。</p> </div> <div data-bbox="395 1075 1362 1258" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>対談／川上 満×吉田博彦              社会教育の最大のテーマとなりつつある地方創生の課題へ、公民館がどのようなことができ、どのようなことをすべきなのか、そのなかでも、首長との関係の重要性と関係構築の方法について語る。</p> </div> <div data-bbox="395 1303 1362 1438" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>対談／矢久保 学×牧野 篤              松本市の公民館の動きと、全国的な公民館の動きから、これからの公民館のあり方や公民館が「地域づくり」に果たすべき役割について語る。</p> </div> <div data-bbox="395 1482 1362 1617" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>対談／吉田博彦×牧野 篤              戦後における公民館の歴史をふまえて、現在の社会課題を整理したうえで、これからの公民館のあり方について語る。</p> </div> <div data-bbox="395 1662 1362 1845" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>まとめ／牧野 篤×村松真貴子              これまでの発表をふまえて、住民の立場から見た地方創生、地域づくりに立って、公民館はどのようにすべきか、現代における公民館の存在意義とは何かなどについて語る。</p> </div>

2 日目	<p><b>【講義1】</b>          公民館を青少年の活躍の場に！          ～子どもたちを地域人に育てる青少年地域ボランティアサークル活動を支援する～          《講師》有馬正史(認定 NPO 法人さわやか青少年センター／理事長)</p> <p><b>【講義2】</b>          公民館運営Q&amp;A ～社会教育法23条にまつわるエトセトラ～          《講師》朱膳寺宏一(浦安市社会教育委員 等)</p> <p><b>【事例研究／プレゼン発表】</b>          全国の優れた公民館実践から          《発表者》松江市玉湯公民館(第 68 回優良公民館表彰／最優秀館)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>平成 27 年度最優秀館に輝いた玉湯公民館が、受賞に至るまでの汗と涙の 10 年間に語る。また、玉湯公民館の目玉事業である青少年ボランティアグループ「たまゆメンバーズくらぶ(愛称:たまめん)」にかかわる中高生たちも駆けつけ、活動を語る。</p> </div> <p><b>【ミニシンポジウム】</b>          《ファシリテーター》牧野 篤(東京大学大学院教育学研究科／教授)          《ゲスト》田中典子(福井県福井市社北公民館／主事)          《ゲスト》河内ひとみ(広島県大竹市玖波公民館／主事)          《ゲスト》岩田渥男(島根県松江市玉湯公民館／館長)          《ゲスト》宮城 潤(沖縄県那覇市若狭公民館／館長)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>優良公民館グランプリを受賞した 3 館が集まり、普段の公民館をどのように運営しているのか、また心がけていること、グランプリを獲得するまでの苦労などについて語る。また、ユニークな活動をしている沖縄の若狭公民館も加わって、公民館の情報発信の大切さや、公民館への熱き思い、公民館の存在意義などについて議論する。</p> </div> <p><b>【特別映画上映会(ものがたり法人 Fireworks 提供)】</b>          《講師》栗山宗大(脚本家、ものがたり法人 Fireworks／取締役)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>映画をとおして、まちづくりや地域づくりを行っている「ものがたり法人 Fireworks」が制作した、「ふるさと」をあらためて見つめ直す映画「ふるさとがえり」を鑑賞する。岐阜県恵那市を舞台に、地域やふるさと、家族などを考える映画となっている。上映後には、この映画の脚本を書いた栗山宗大さんが語る。</p> </div>
------	---

3 日目	<p><b>【特別対談】</b>  ESD と公民館  《講師》重森しおり(岡山市立中央公民館)  《講師》柴尾智子(公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター／シニア・アドバイザー)</p>
	<p>ESD は、「Education for Sustainable Development」の略で、学校で、地域で、職場で、家庭で、持続可能な社会づくりを担う子供、大人が育つための学び・人づくりをいう。ESD をわかりやすく、楽しく解説。また、ESD を導入することで、公民館運営がどんなふうになり、どんなメリットがあるのか、岡山市の具体的な活動を見ながら実感する。</p>
	<p><b>【講義3】</b>  「社会」をつくる基盤としての公民館  ー公民館、そして公民館的なものの翼(ウイング)を拡げるー  《講師》牧野 篤(東京大学大学院教育学研究科／教授)</p>
	<p>3日間の議論をふまえ、70年経った公民館がこれからどうすべきなのか、現在の社会情勢や国の動き、また公民館の現状やその他の公民館的な活動状況をふまえながら、考えます。</p>
	<p><b>【総括／3日間を振り返って】</b>  《コーディネーター》牧野 篤(東京大学大学院教育学研究科／教授)</p>
	<p>この3日間で学んだことを振り返ります。また、今回のテーマである「公民館70年 現代的な存在意義を考える」について、改めて考えます。</p>

**【相談助言・情報発信・連携協力事業の実施】**

**①相談助言・情報発信**

日々の公民館活動のなかで「社会教育法上の適否」や「トラブル回避の方法」「活動事例」「公民館の評価」などを情報発信するとともに個別の照会に対し、電話やインターネットを活用した助言を行った。また、各地の公民館で実施する研修会の開催にあたって、講師派遣の相談対応、運営に役立つ情報提供などを適宜行い、公民館機能を向上させることをもって地域社会の健全な発展を図った。

**②国・地方公共団体・社会教育団体・機関等との連携協力**

社会教育団体振興協議会の運営を通じて「社会教育関係者懇親の集い」における情報交換及び情報発信、より多くの協力者を求めて、国内における社会教育に関する理解を深めるための新規の加入促進を行うとともに、全国の公民館の活動推進に資するために、公民館施設活用の促進について、積極的な働きかけを行った。

【地域活動支援事業の実施】

都道府県公連で実施している研修などに対して支援をするとともに、その活動状況を発信することによって公民館機能を向上させることをもって地域社会の健全な発展を図った。

・各都道府県公連 112 事業に対して 8,201,784 円を助成。

【公民館広報推進事業の実施】

公民館の広報活動の事例を収集・評価を行い、優良なコンテンツを表彰することによって、公民館機能を向上させることをもって地域社会の健全な発展を図る事業として、今年度は公民館報についてコンクールを行った。

今年度を実施したコンクールの結果は以下のとおり。

(「全国公民館報コンクール」の結果一覧)

種類	名称	受賞館
最優秀賞	1 館	・社公民館報 やしろ(倉吉市社公民館／鳥取県)
優秀賞	3 館	・筆甫ふるさとだより(丸森町筆甫まちづくりセンター／宮城県) ・萩市須佐地域公民館だより(萩市須佐公民館／山口県) ・公民館だより たわらやま村民塾(長門市俵山公民館／山口県)
優良賞	5 館	・中川公民館だより(高崎市中川公民館／群馬県) ・公民館だより(あわら市吉崎公民館／福井県) ・ふるさと おかもと(越前市岡本公民館／福井県) ・みんなの地域情報紙 あいお(山口市秋穂地域交流センター／山口県) ・広報わかさ(那覇市若狭公民館／沖縄県)
特別賞	2 館	・まつなが(小浜市松永公民館／福井県) ・豊田下公民館だより「豊田下」(下関市立豊田下公民館／山口県)
奨励賞	6 館	・かさかけ 公民館だより(みどり市笠懸公民館／群馬県) ・とよおか(豊丘村公民館／長野県) ・公民館報「まつかわ」(松川町中央公民館／長野県) ・広報ふくま(越前市服間公民館／福井県) ・はながたみ(越前市花筐公民館／福井県) ・あまから通信(高松市木太地区コミュニティ協議会／香川県)

※一部表示上の都合で平易な表記にしてあります。

【「月刊公民館」の発行】

公民館の運営に参考になる特集テーマで、地域社会の取組や専門家の論考などを紹介した「月刊公民館」を発行し、これを広く供することで公民館機能を向上させることをもって地域社会の健全な発展を図ってきた。今年度は以下の特集を組み発行した。

(月刊公民館特集テーマ一覧／通巻 707～718 号)

発行	特集テーマ	発行	特集テーマ
4月号	PR力を高める	10月号	新しい公民館のカタチ(下)
5月号	全国公民館実態調査から見た現状	11月号	特色ある講座レシピ集(上)
6月号	失敗事例に学ぶ	12月号	特色ある講座レシピ集(下)
7月号	子ども向けの活動	1月号	防災と公民館
8月号	地域づくり	2月号	公民館設置から70年
9月号	新しい公民館のカタチ(上)	3月号	第6回館報コンクール結果報告

【専門資料の発行】

公民館活動を行ううえで必要になる専門資料を発行し、公民館機能を向上させることをもって地域社会の健全な発展を図った。今年度は公民館事業の計画、実行、評価、改善のPDCAサイクルの実践に活用できる蛇腹型の手帳と「全国公民館実態調査(平成25年度)」の結果をもとにした考察を記載した「公民館のゆらぎとその可能性」を発行した。

【優良公民館職員等表彰事業】

他の模範となるような優良な実績を有する公民館職員を表彰すること及び「優良公民館表彰」で文部科学大臣表彰を受賞した公民館に、記念の楯を贈呈すること、『月刊公民館』でその活動を紹介することで公民館関係者の意欲を触発し、力量の向上を促すことによって、公民館機能を向上させることをもって地域社会の健全な発展を図った。

今年度は以下のとおりの表彰を実施した。

《優良公民館表彰及び優良公民館表彰実績》

優良公民館職員表彰	21名を表彰した。
優良公民館表彰	73館(うち1館が最優秀館、4館が優秀館)の受賞館に記念の楯を贈呈し、『月刊公民館』で活動を紹介した。 <b>【最優秀館】</b> 西予市遊子川公民館(愛媛県) <b>【優秀館】</b> 郡山市立大島地域公民館(福島県) 白山市立林中公民館(石川県) 福井市和田公民館(福井県) 鳥取市立成器地区公民館(鳥取県)

## Ⅱ 公民館総合補償制度に関する事業

### 【見舞金制度事業の運営】

公民館総合補償制度のなかで運営し、健全な制度運営と適切な支払いに努め、以下の弔慰金及び見舞金の支払いを行った。また、剰余金の一部を公益目的事業の財源に充てた。

### 《見舞金制度支払実績一覧》

種類		件数	支払金額	
行事傷害	急性疾病死亡弔慰金	21 件	2,100,000 円	12,096,000 円
	急性疾病入院見舞金	41 件	2,246,000 円	
	建物・特定災害見舞金	22 件	1,300,000 円	
	地震特別見舞金	129 件	6,450,000 円	
職員災害	職員死亡弔慰金	6 件	600,000 円	5,658,000 円
	職員入院見舞金	99 件	5,058,000 円	
合計		318 件	17,754,000 円	17,754,000 円

### 【災害補償保険等に係る集金事務に関する事業】

公民館総合補償制度の運営にあたり、保険会社との間で集金事務委託契約を締結し、制度掛金のうち保険料(団体災害補償保険等の保険料)相当部分の集金業務を、請負事業として実施した。当該事業で得られた利益は、公益目的事業の財源に充てた。

## Ⅲ その他の事業

### 【永年勤続職員表彰、功労者表彰及び公連勤続職員表彰の実施】

公民館において長年勤務し、一定の成果をあげた職員を表彰し、立場を同じくする公民館職員への励みとし、同時によき模範となることにより、公民館職員の意欲を触発し、力量の向上を促すことで、公民館機能が向上することをねらって永年勤続職員表彰を行った。

また、都道府県公連における活動の活性化は、本会の目的の達成はもちろん、本会の根幹にかかわるため極めて重要視している。都道府県公連に対して功労があった役職員を表彰することにより、その労をねぎらい、連帯意識の向上に資するために各種表彰を行った。

今年度の表彰実績は以下のとおり。

### 《永年勤続職員表彰、功労者表彰、公連勤続職員表彰実績》

種類	人数
永年勤続職員表彰	127 名
功労者表彰	7 名
公連勤続職員表彰	2 名